

2021年度 長野県審判強化研修会報告書

報告者：吉田 知実

- 1 趣 旨 JBAより講師を招き、指導していただくことにより、上級審判員を目指す審判員の意識の高揚と改革をねらい、強化を図る。
- 2 テーマ 「A級審判員として求められる力とは何か」
- 3 期 日 令和3年7月31日（土）・8月1日（日）
- 4 大会名 長野県総合バスケットボール選手権大会 2日目・最終日
- 5 会場 千曲市戸倉体育館（2日目・最終日）
〒389-0806 千曲市磯部 1406-1
TEL 026-276-1731
- 6 日 程 7/26（月）
19:30～21:00 オンライン研修会
7/31（土）
11:00～（男子G） 実技Ⅰ
13:00～（女子G） 実技Ⅱ
15:00～（男子G） 実技Ⅲ
17:00～ 映像研修
8/1（日）
9:00～（女子G） 実技Ⅳ
11:00～（男子G） 実技Ⅴ
- 7 講師 T級IR 玉木 彰治氏 2級IR 山内 正隆氏
- 8 参加者 令和3年度 長野県重点・強化審判員 16名（聴講生：2名）
- 9 新型コロナ感染対策
 - ① 健康観察
 - ・受付時の検温。
 - ・JBA「健康チェックシート（2週間分）」の提出。
 - ② 手指消毒・マスク着用・会場の換気及び消毒の徹底
 - ・体育館入り口や研修会会場、審判控室やTO席に消毒液を設置。こまめな手指消毒の実施。
 - ・実技研修の際、ホイッスルカバーとレフリーマスクの着用の徹底。
（ホイッスルカバーとレフリーマスクは、県審判委員会より支給）
 - ・体育館及び研修会会場、審判控室の常時換気。
 - ・審判控室の1時間ごとの消毒作業の実施。
 - ③ 更衣室の使用について

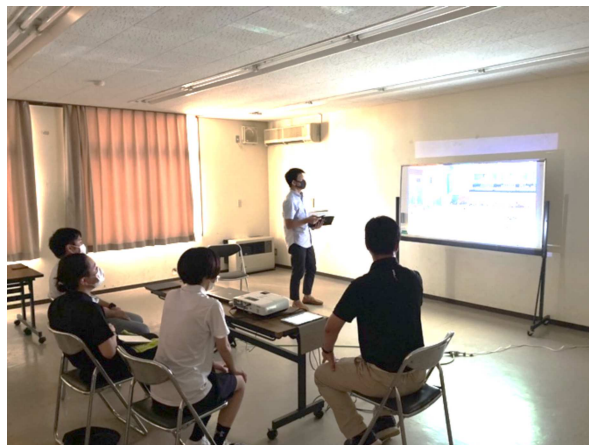
- 更衣室の常時換気。
 - 可能な限り、更衣を済ませての参加。
- ④ 「3密」を避ける取り組み
- 研修室への入室の制限
 ※入室できない研修生のために、研修の様子を動画で撮影して後日研修生に配信した。
 - 全体研修は、オンラインや体育館のステージ（3密を回避できる場所）を使用。

10 研修会の様子

【研修ゲームⅠ】



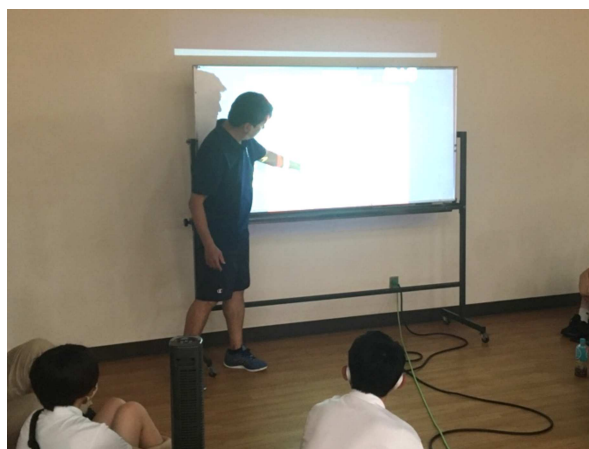
【研修ゲームⅡ】



【研修ゲームⅢ】



【映像研修】



【研修ゲームⅣ】

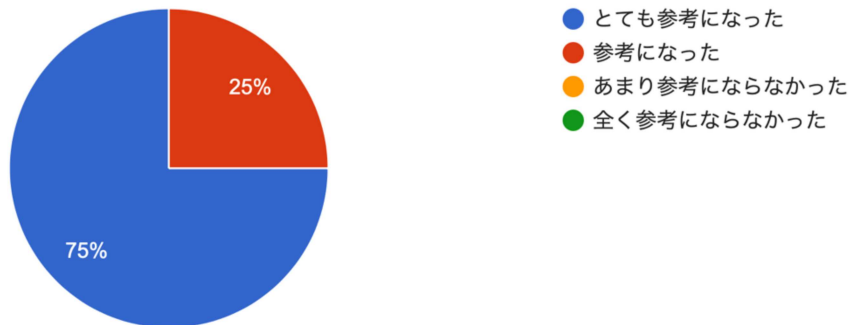


【研修ゲームⅤ】

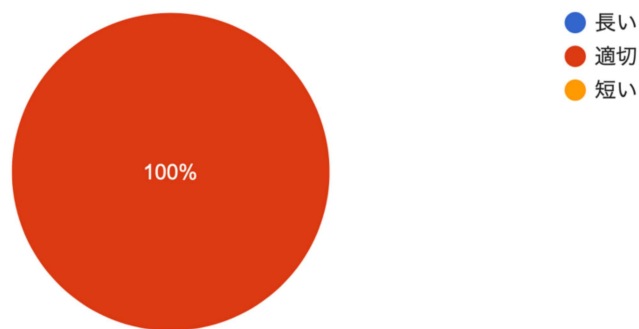


【参考】研修生からのアンケート

◇オンライン研修会(土曜日の映像研修も含めて)について



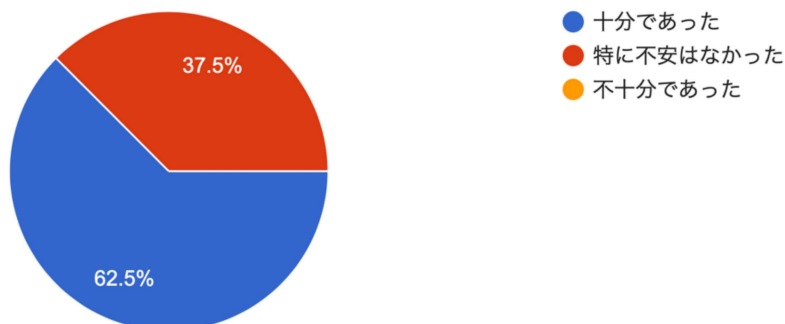
◇講師による研修ゲーム後のミーティングの時間について



◇講師による研修ゲーム後のミーティングの内容について(一部記載)

- ・映像を見ながら、マーカーでどの位置にいればいいのかが、より明確になりました。また、誰のプライマリなのか、メカニクスの観点から分析していただき、勉強になりました。
- ・良かったところも指摘していただきながらも、課題点、自身やクルーとしての課題を指摘していただきました。より一層の努力の必要性を感じるとともにモチベーションの更なる向上につながりました。
- ・技術面、メンタル面の両方を丁寧に伝えて頂き、とても分かりやすかった。長野県でTOPになる。そして武器を持つ。クルーが強くなる為のクルーワークで出来る事。リバウンドへのチャージ、フィットネス。リードでオープンアングルの見せ方。どれをとっても、今の自分に必要な内容で充実した時間でした。
- ・映像を用いたミーティングができ、プレー1つ1つを思い出しながら反省を行うことができとても良かったです。また、全体を通じての反省を頂いた後に、個人としての取り組む課題をいただけて、それぞれにあった内容でとても勉強になりました。

◇今回の研修会の感染対策について



11 研修会を終えて

本研修会は、昨年度新型コロナウイルス感染拡大により実施することができなかつたため、2年ぶりの開催でした。ワクチン接種は始まったものの、デルタ株などの変異種による感染再拡大の中の実施となりました。そのような中でも、感染対策に協力してもらいながら、16名の研修生と2名の聴講生には、とても熱心に研修会に参加してもらいました。

中心講師としてご指導いただいたT級IR玉木彰治様には、「A級審判員として求められる力」をテーマに、個々に応じた適切なご指導・アドバイスをいただきました。オンライン研修や映像研修の中で、上級レフリーになるためには、「**B級審判員として長野県で“トップ”になること**」というお話がありました。「トップ」になるためには、**①他のレフリーに影響を与える姿②武器③言葉の深み**、この3点を持ち合わせる大切であると教えていただきました。レフリー技術やオンザコートでの姿はもちろんですが、それだけでは上級審判員には辿り着けない厳しさも学ばせていただきました。その他にも、3POメカニクスについてもお話がありました。トップリーグでも県内でもどんなゲームでも、**ベーシックなメカニクスを理解し、実践して積み重ねていくことが重要である**と教えていただきました。長野県内においても、カテゴリーに問わず、3POでゲーム運営されることが多くなってきています。改めて、今回の研修会を通して学んだベーシックな3POメカニクスを徹底し、習慣化し、更なるレベルアップに繋げていければと思います。

最後になりましたが、公私共に忙しい中、本研修会に講師として参加して下さった玉木様・山内様に、心より感謝申し上げます。また、こうした状況下の中での研修会の開催について、ご理解・ご協力をいただいた（一社）長野県バスケットボール協会会長の夏目様はじめ協会の皆様、千曲市バスケットボール協会の皆様にも、心より感謝申し上げます。2028年の長野国体に向けて、益々励んでいきたいと思っております。

指導育成担当 吉田知実



※記念写真のため、マスクを外して声を出さず撮影しています。